



朝一小だより

学校教育目標

- ・考える子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



活気あふれ、心が躍り、一人一人がより良く生きる学校

Tel048-461-0052 <http://www.asakadailshou.city-asaka.ed.jp/>

朝霞市立朝霞第一小学校

令和6年12月1日

児童数 588名



「聞く」「聴く」「観じる」

校長 金子 二郎

半月前まで日中は半袖で過ごせる日もありましたが、日暮れの早さにつられたのか急に冷え込みが厳しくなりました。ゆっくり虫の声を楽しむ余裕もなく冬が近づいているようです。紅葉や银杏、桜の葉の色づきよりも最近では街のイルミネーションが冬の訪れを教えてくれます。11月になっても複数の台風が近海で発生し被害も報道されました。復旧に努めている中で師走を迎えている方々に思いを寄せなければとも思います。一方、幸い新型コロナウイルス感染者の報告数は減りつつあるものの、他の感染症につ



いては注意が必要な状況です。保護者や地域の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。体調管理にはくれぐれもお気を付けいただければと存じます。

さて、2024年「新語・流行語大賞」30の候補が先月発表されました。私達を元気にしてくれたスポーツに関わるものも少なくありませんが、暗い話題にまつわるものも散見されます。特に「トクリュウ」「ホワイト案件」など、昨年度ノミネートされた「闇バイト」に関わるものが見られ、今年も未だに解決されていない根深さを感じます。先日はこのような事件で中学生も検挙されたと報道されていました。「なぜ犯罪に巻き込まれる世界に自分から飛び込むのか」という疑問を感じる方も少なくないと思います。個人的には、相手の話からその意図を的確にとらえる力を子供たちが急いで身に付けることが必要だと強く感じます。以前にも紹介しましたが、今はタイパやコスパが当たり前前の時代ですから情報を発信する側はまず、受信してもらうことを優先します。他方、情報氾濫の社会では正しいかどうかは勿論、必要な情報か否かを受信する側が判断するのは容



易ではありません。内容の如何とは別に、「面白いかな否か」「分かり易いかな否か」、極端に言えば「長いかな短いかな」で選択的に情報を受信するおそれがあります。クリアカットで端的な話が誤った情報であることは少なくありません。「失敗しても簡単にリセットできるから大丈夫」「相手とのやりとりも通信を遮断すれば心配ない」と現実の人間関係をバーチャルなものと同様に捉えているのなら大変心配です。社会で

の時間的な経験値の多寡を考えれば、自分にとってどの情報が必要なのか、あるいは危険なのかを的確に判断する評価基準を、10代前半の子供に求めるのは簡単なことではありません。であるなら、分かり難くても、面白くなくても、場合によっては長くてもまずは相手の話を全力で聞いてみるという習慣を身に付ける必要があると思います。漫然と「聞く」のではなく心から「聴く」、あるいはまさに観世音の如く五感をフル活用して相手の話（意図）を「観」じる力を身に付けることができればと願ってやみません。



相手の言葉を自分の言葉に置き換えながらきくことで、相手の主張の本質が見える。(橋下 徹)